



日々の活動は
ブログを
ご覧ください



～第2ステージはじまる～
まっすぐに ひたむきに
県政へ 全力投球

兵庫県議会議員

石井ひでたけ

NEW

みるみる通信

今任期を振り返って
県政に! 地域に! 足跡を刻む!

令和5年が幕を開けました。コロナ禍から3年、中止されていた新春行事も少しずつ再開され、明るい兆しを感じます。感染症と社会生活、経済活動を両立していく新しいステージに向けた県政の推進に臨機応変に対応し、未来への道筋を示す県議会議員としての使命を果たせるように、今年も県政に全力投球してまいります。

激動の時代ともいえる今、振り返ると、「平成」から「令和」の新時代とともに5期目の今任期が始まりました。

新たな兵庫の未来像を示そうとする令和2年、新型コロナが世界中を震撼させました。医療等の感染症対策、県民生活、経済活動の支援で県当局とともに奔走しながらも、社会活動が制限される中で、議員活動のあり方も一から考え、同時に原点を見つめ直す日々が続きました。

そして令和3年、県民の価値観、生活様式が変容する中、新しい兵庫の未来を切り拓くため、議員生命をかけて県政に新風を吹き込むべく行動し、斎藤元彦知事のもと新県政がスタートしました。議会の会派も志を同じくする会派に合流するなど、20年振りに知事が交代する県政史に残る重大局面の最前線で、新しい兵庫県を創るために果敢に挑み、その情熱を多くの方々と共有、初心の志を取り戻したように感じました。

激変する社会、航海図のない未来への船出でしたが荒波に臆することなく知事とともに県政改革方針の策定、県庁組織の刷新、官民連携による県版SDGsの推進などに取り組み、令和4年は「躍動する兵庫」への第一歩を踏み出しました。次代に向けての新しい成長の種がまかれ、それが地域に根付くように議会としてしっかりと取り組んでいく必要があります。

日頃の皆さんとの対話と現場の実情を踏まえ、これまでから提言、要請してきた私自身の取り組みも県施策として前進しています。県と神戸市の連携、二重行政の解消では、水素・脱炭素社会の実現に向けて、神戸市が世界に先駆け進める市街地における水素100%ガスタービン発電実証などの取り組みと、県が進める播磨臨海地域でのカーボンニュートラルポート計画を同時に展開し、世界的な水素サプライチェーンの拠点形成を目指します。

未来を担う子どもたちのために教育環境の整備を求めてきましたが、学校のトイレ改修は前倒し実施され令和5年度までに完了、新年度予算では部活動の支援など学校現場に大幅な投資予算が組まれています。

特にサイクリングなど県内外からの交流人口の拡大に向けて発信してきた提言も、大鳴門橋の自転車道の整備に来年度着手するなど大きく動き出しました。

これからも県民本意・生活者の視点・現場主義の姿勢を貫きながら、私が長年磨きをかけ、誰にも負けないと信じる「人・現場力」を發揮し、知事とともに兵庫の飛躍をめざし、「県政に! 地域に! 足跡を刻む!」ことを活動の礎として取り組んでまいります。一層のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。



2月定例県議会 注目トピックス!

みるみるくん



大阪・関西万博に向けた取組の本格化

ひょうごフィールドパビリオン、空飛ぶクルマなど

神戸空港の国際化を見据えた
観光戦略の推進

兵庫デスティネーションキャンペーンなど



脱炭素・水素社会実現への取組を推進

カーボンニュートラルポート形成に向けた取り組み、
水素社会の実現に向けた取り組み

成長産業の集積の加速

ひょうご経済・雇用戦略の策定、産業立地条例の改正



教育環境の充実

令和5年度から10年度の6年間で
総額300億円の投資：空調設備、部活動高校生の
学校生活応援など

SDGsの取組の加速

認証事業など



第361回2月定例県議会は2月13日から3月20日の日程で開催されます

2月24日(金)の一般質問では10時45分頃から登壇します。斎藤知事と議場で対峙する初の舞台であり、今任期最後的一般質問で会派登壇者のトリを務めます。4年間を総括し、今後への意気込みを込めて、斎藤知事をはじめとした県当局に令和5年度の県政方針や課題、兵庫の将来像をただします。

コロナ禍で休止していた議会傍聴も再開いたしました。傍聴手続きも簡単にできるようになっていますので、ご希望の方は県庁2号館と3号館の間にある本会議場にお越しください。

詳しくは兵庫県議会ホームページ(検索：兵庫県議会 傍聴)でご確認を。

第361回定例兵庫県議会の審議状況をインターネットで中継します。インターネットでは録画配信も行っておりますので、是非、ご覧ください。

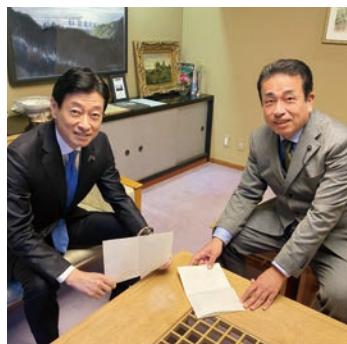
【インターネットでの視聴方法】

右のQRコードを読み取りの上、ご覧ください。



西村康稔・経済産業大臣と意見交換

コロナからの地域経済の活性化や県内での水素・脱炭素社会に向けたサプライチェーンの形成への支援などをはじめ、観光振興・サイクルツーリズムの推進等について県と国の連携の方向性などを西村康稔経済産業大臣と会派メンバーとで2月4日意見交換会を実施しました。



震災から28年 原点を胸に刻む

1月17日、阪神・淡路大震災から28年を迎える。地震発生時刻の5時46分に黙とうを捧げ、県等が主催する「ひょうご安全の日のつどい」に参列しました。震災の経験が私の政治活動の原点です。震災当時28歳、今56歳なので人生の半分を震災後の社会で歩んできたことになります。内外から受けた多大な支援への感謝と、助け合い、支え合った絆の大切さを忘れず、安全安心な社会の実現に、半生を過ごしてきたと思うと感慨深いものがあります。

初心を胸に刻み、震災の経験と教訓を「躍動する兵庫」、そしてコロナからの創造的復興に活かすとともに、次世代に継承する決意を新たにしました。



真心込めて献花



つどいの会場で
谷公一内閣府特命担当大臣
(防災担当)と

政調会・新年度予算で活発質疑

令和5年度県当初予算の編成状況について各部局から説明を受ける政務調査会が1月6、10、11日の3日間にわたり実施されました。昨年、会派で行った重要政策提言や予算申し入れが反映されているかチェックしつつ説明を聞き、その後の質疑応答では、地域課題や中長期的な取り組みについて活発に議論を交わしました。



顔と顔が見える関係を築く

「もっと 身近に 県政を」との思いで、通勤・通学時間帯の駅立ち道路立ち、県政報告紙「みるみる通信」の発行を続けています。駅立ち道路立ちは公務を最優先に継続して21年、2,150回を超える、「みるみる通信」は20年、今回で102号になります。日々の活動はホームページのブログに掲載しており、議会活動等の公務はもちろん、地域行事・イベントに参加したエピソードや趣味などプライベートなことまで、1日の私の動きや思いを紹介しています。県政の情報発信、広報・広聴の取り組みの重要性は年々、高まっており、議会でも当局と活発に議論しています。同時にSNS等、その手法も変化・多様化が進んでいます。しかし、「顔と顔が見える関係」を築くことが県政を身近に感じていただける最善の方法との思いで、県民に対する私の姿勢、原点として時間の許す限り駅や道路に立ち、直接顔は見えませんが、多くの方々に県政、県議会のことを知っていただき、私の思いが伝わる県政報告紙の発行、ブログの更新を続けています。

駅頭等で私の姿を見かけた時は、県政に対するご意見・ご要望などを気軽にお声をかけてください。ホームページにはブログだけではなく、これまでの「みるみる通信」(101号分)すべて掲載していますので、ご覧ください。



早朝に加え、昨秋から帰宅時間帯も駅に立っています
(夕刻の時間帯の方が、よく話しかけられます! 😊)



県政報告紙「みるみる通信」は
今任期中18回発行

石井ひでたけ プロフィール

昭和41年4月15日生まれ

B型 西区学園西町在住
白陵中・高、神戸商科大学(現兵庫県立大学)卒、
サラリーマン生活を経て、
阪神淡路大震災直後、会社を退社、代議士秘書
平成11年、西区より県議選に出馬するも惜敗
平成15年、二度目の挑戦で県議会初当選
平成19年・23年・27年・31年 再選

(現在) 兵庫県議会自民党兵庫議員団 所属
兵庫県議会議運委員会 副委員長
兵庫県スポーツ協会 評議員
兵庫県自転車競技連盟 会長
【主な経歴】 関西広域連合議会 議員(2期)
兵庫県監査委員 兵庫県産業労働常任委員会 委員長
兵庫県農政環境常任委員会 委員長
ひょうご県民連合議員団 団長 他
【趣味】 ドライブ 自転車 登山(日本100名山踏破) 他



地元小学校の「とんど」用に1.17希望の灯りを分灯していただきました

月曜 県政相談会

毎週月曜日の10時から12時まで
伊川谷事務所にて
「県政相談会」を開催しています。
どんどんご意見・ご要望お寄せください。



公務等で不在の場合がありますので、事務所へご確認の上お越しください。

石井ひでたけ 事務所

玉津事務所

〒651-2133

神戸市西区枝吉1-215

TEL 078-920-2200

E-mail: ishiihidetake@gmail.com

公式サイトは
こちら▼



自民党兵庫議員団
公式サイトはこちら▼

